

ボラ はあと



編集：能美市ボランティア連絡協議会



第18回

能美市民ボランティアフェスティバル

令和7年10月12日（日）

辰口福祉会館



オープニングは
NOMIジュニアジャズオーケストラのみなさん



お楽しみ抽選会は大盛り上がり！

第18回ボランティアフェスティバルを振り返って

実行委員長
山本 日和子



第18回能美市民ボランティアフェスティバルを10月12日(日)、辰口福祉会館において、盛大に開催することができました。このフェスティバルは、毎年度、「出来る事からはじめよう！今こそ、みんなで支えあう地域の輪!!」をテーマとして、ボランティア同士の交流、来場者との交流を通じて、ボランティア活動の活性化を図ることを目的としています。

今年は、会場をこれまでの根上総合文化会館から辰口福祉会館に移しました。コンパクトな会場でしたが、いろいろと知恵を絞りましたことで、会場全体がほっこりした雰囲気で開催することができたと思います。各コーナーから楽しげな笑い声が聞かれ、とてもうれしく思いました。

また、昨年に引き続き、能登応援物産コーナーを設けたことで、私たちの「能登復興の願い」を発信することもできたのではないのでしょうか。これからもこの「地域の輪、ボランティアの輪」をさらに広げていけたらと思います。開催に向けて一生懸命頑張った下さった全ての方々のおかげです。本当にありがとうございました。

あなたも活動をはじめてみませんか。いつでも **今** がはじまりです。



第18回 能美市民ボランティア フェスティバルの報告



地域福祉推進のマスコミ
「のみんちゃん」

たくさんの方にご来場いただき、日頃の活動を知って頂く機会となりました。



今年も能登応援コーナー大盛況!!



施設の活動を勉強したよ!



飲食コーナーで買い物を楽しみました♡



豪華景品スタンプラリー!



オープニングから
多くの方が来られました!



煌びやかな音色のハーモニー♪



多くの体験コーナーに、
皆さん足をはこびます!



寺井高校生・OB・OGのみなさんの
大迫力の演奏♪グッとひきつけられます!



ベルマークの整理
やりだしたら夢中でとまらない!!

小学生・中学生・高校生もボランティア頑張りました!!

参加者：小学生 5名 中学生 7名 高校生 21名



スーパーボールすくいのお手伝い
頑張りました!



輪投げコーナー はい、どうぞ😊



優しい笑顔でご案内♡

ボランティアに参加して

- ・フレンドリーな方々が多く最高でした!
- ・こどもたちとのふれあいなど、普段できないことができたので良かったです。
- ・人のために何かをして感謝されるのがとてもうれしかった。
- ・地域の人とのかかわりを身近に感じることができた。
- ・もっとたくさんのボランティア活動をしてみたいと思いました。
- ・多くの方が来るボランティアのイベントにびっくりしました。能美市にはたくさんのボランティアの方が活動をしているのを知りました。

能美市民ボランティアフェスティバルに参加して

健康

寺井病院 新 栄治

寺井病院、芳珠記念病院、能美市立病院の3病院で参加しました。3病院は普段からお互い協力・連携しています。実際に顔を合わせて、同じ行事に取り組むことは少ないので、スタッフ同士の貴重な交流の場にもなっています。

今年も昨年と同様に健康チェック、健康相談コーナーを実施しました。各病院の連携室・看護師・レントゲン技師が、血圧・骨密度・体組成計・血管年齢の測定をしました。来場した方からは「血圧が高くなった」「血管年齢が実年齢より若かった!」などの声が聞かれました。自分の健康状態を確認し、異常の早期発見や生活習慣を見直す機会になってくだされば幸いです。

健康チェックコーナーに参加してくれた方は135名でした。

来年も健康のことを考える企画を考え、ボランティアフェスティバルを盛り上げたいと思っているので、皆さんぜひ遊びに来てください。



福祉

響の会 川崎 和恵

キラキラ☆ニコニコ☆キラキラ☆みんな輝いている!!

今年の会場は辰口福祉会館で、屋内のステージでの開催となりました。お天気・強風・暑さなどの心配もなくステージを楽しんでいただけました。

また、「ふれあいステージ」に参加の皆さんは、天候に関係なく、安心して日頃の成果を披露していました。

参加者の実力を発揮できた素敵な「ふれあいステージ」でした。



環境

能美市民環境ネットワーク 東 浩一

私たちは、ペットボトルリサイクルの推進、「ポイ捨て」防止などを訴えました。

体験は、ペットボトルキャップとストローの鳥笛作りです。キャップ2個をたいこ状にテープでくっつけ、吹き込み穴とドレミ穴6個を開け、指の開閉でドレミを出します。

親子づれ約70組が体験され、音が出た時の子ども達の笑顔が印象的でした。

多くの方が体験にこられ、スタンプラリーのスタンプ押しも大変でした。



生活

能美市笑いヨガ倶楽部 道下 貴子

能美市民ボランティアフェスティバル最高!!

「出来る事からはじめよう!今こそ、みんなで支えあう地域の輪!!」笑いヨガの資格を取って今年10年目になります。一人で始めた活動も仲間が増え、6年前より「能美市笑いヨガ倶楽部」として活動しています。

笑う健康体操とヨガの呼吸法を取り入れた健康法です。当日は笑いヨガ初体験の方が多く、皆様に喜んでいただき感謝します。

これからも皆様の心と体の健康と幸せづくりを応援いたします。



みんなの感想

- ・たくさんの笑顔が見られました。
- ・ボランティアってたくさんあるんだね!
- ・普段は体験できないことができてよかったです。
- ・つながりって大事だね。
- ・ボランティアの「輪」広がるといい!
- ・いろいろなコーナーで楽しみながらまわることができてよかったです。
- ・楽しい時間をありがとう。来年も頑張ってください。

メッセージボード



会員の学びと交流のために、分野別研修会を開催しました

第1分野 9月14日(日) ふれあいプラザ

手話サークル虹 土山 彰一

「言葉で伝える星の世界 新たな生活の歩みから」と題し、星空解説員 木下真由氏にご講演いただきました。視力を失っても、「自立して生活をするために出来る事を工夫して行う」という内容が印象深く残っています。お弁当の写真をを見せてもらい、色とりどりのお弁当に感動しました。

星空解説員になられてからも、目で視えない星空を「視えないものを視える化する」「自分の中でイメージできるまで勉強する」「様々な工夫や努力、周りの方の協力もあり、解説員が出来ている」ということにも感動しました。

1時間余りの講演は感動しっぱなしで、工夫する事の大切さや協力する事の大切さを学び直した気持ちになりました。

県内や能美市で木下氏の星空解説を聞きながら、星空や星座を観てみたいとなりました。



第2分野 7月6日(日) ふれあいプラザ

おはなしの会Twinkle 小西 彰子

第2分野のボランティアグループから講師を迎える研修が続いています。

今回は、能美マジック教室の山本日和孩子氏からバルーンアートを教えていただきました。

難しい!!けど楽しい!!いろんな形の風船を膨らませ、曲げたり結んだり、時々割れたり飛んでいったりしながらも、みんな個性的なバルーンを作り上げていきました。まさにアート作品でした。



第3分野 8月2日(土) ふれあいプラザ

どうぶつの守 東出 岳也

「小さなメダカで繋ぐ地域コミュニティ」と題し、奈良県天川村(てんかわむら)より看護師 山端聡氏にご講演いただきました。今回の研修は、自分にとって大きな価値のある学びの機会になったと感じています。

出来る事と得意な事を合わせて、課題解決のきっかけにするという考え方、その実践の経緯など、まさに講師にとっての実体験であり、他にはない情報がとても多かったです。山端氏と同じく私もメダカの飼育・繁殖の他にも、得意な事があるので、山端氏と似たような活動を始めていきたいと考えています。



きまっし
ボランティア

編集後記

「ニュースのトップ項目が、猛暑から熊に」

秋の行楽シーズン、きのご採りやもみじ狩りどころではない。園庭で無邪気にはしゃぐ子ども達の様子を見ながら、フェンスをよじ登って現れるかもしれないと想像して心配になる。

ちなみに気温が8℃になると平野部に紅葉が降りてくるという。熊は6℃で冬眠に入るというデータがある。寒いのは苦手だが、どうぞ早めに山へ入って冬眠してほしいと願わずにはいられない!

N・N